

現代神学

現代神学のフロンティア ——多様化する潮流——

小原 克博

こはら かつひろ
授業担当者：小原 克博

- ・ 同志社大学 神学部・神学研究科 教授
- ・ 同志社大学 良心学研究センター センター長
- ・ <http://ryoshin.doshisha.ac.jp>
- ・ 京都民医連中央病院 倫理委員会 委員長
- ・ 一神教学際研究センター長（2010-2015年）、京都・宗教系大学院 連合 議長（2013-2015年）等を歴任。

こはら かつひろ
授業担当者：小原 克博

- ・ 専門はキリスト教思想、宗教倫理学、一神教研究
- ・ 先端医療、環境問題、性差別などをめぐる倫理的課題や、宗教と政治の関係、および、一神教に焦点を当てた文明論、戦争論に取り組んでいます。著書に『宗教のポリティクス—日本社会と一神教世界の邂逅』（見洋書房）、『神のドラマトゥルギー—自然・宗教・歴史・身体を舞台として』（教文館）、『原理主義から世界の動きが見える—キリスト教・イスラーム・ユダヤ教の真実と虚像』（共著、PHP研究所）『キリスト教と現代—終末思想の歴史的展開』（共著、世界思想社）などがあります。

Overview

- ・ 講義概要
- ・ 現代における神学的課題

講義概要（シラバスより）

この授業では、現代世界におけるキリスト教の神学的動向について理解し、そこで提示されている課題に対する洞察を深めていくことを目的とします。

講義概要（シラバスより）

20世紀前半の人類に大きな影響を与えた世界大戦は、神学の世界にも甚大な影響を及ぼしました。戦争と平和、国家（社会）と宗教の関係など、今日のわたしたちがなお考え続けなければならない課題を、A. シュヴァイツァーやD. ボンヘッフアーたちの思想を通じて整理したいと考えています。

講義概要（シラバスより）

それに続けて、20世紀後半、とりわけ、1960年代以降形成されてきた、解放の神学、黒人神学、フェミニスト神学、終末論の新しい解釈、宗教の神学、環境の神学、動物の神学など、近年の神学的潮流を、それぞれが成立してきた時代的・社会的背景と共に紹介していきます。

講義概要（シラバスより）

いずれの神学思想も現在進行形のものであり、必ずしも完結した体系や定まった評価があるわけではありませんが、それだけに現代神学の躍動感を伝える魅力を備えています。そして、それらはしばしば伝統的な神学の枠組みに対し、批判的な視点を持っています。それらの論点を明らかにするために、伝統的なキリスト教神学をたどっていくことも必要になるでしょう。

講義概要（シラバスより）

20世紀後半から21世紀前半の現在に至るまで、キリスト教の中心点・成長点は西洋から、アジア、アフリカ、ラテンアメリカなど非西洋世界に大きくシフトしてきています。伝統的な西洋神学のコピーにとどまらず、自らが生きる、それぞれの生活の中で神学的思索と実践に取り組む文脈化神学（contextual theology）についても扱います。

現代神学の扉をたたいて、新しい知の探求の旅に出かけてみませんか。

【重要】授業用ページ

- ・ 小原克博 On-Line <http://www.kohara.ac/>
- ・ 授業用資料は、このサイトの「教育活動」→「講義概要・シラバス」→「現代神学」にアップします（遅くとも月曜日早朝にはアップ）。紙による資料の配布はありません。
- ・ 事前に授業用資料をダウンロードして、授業に出席してください。大学でチェックする場合には、必ずリロード（再読み込み）してください。

成績評価基準

- ・ 成績：出席（30%）＋期末試験（70%）
- ・ 10分以上の遅刻は出席としませんのでご注意ください。交通遅延等、不可避の事情があった場合には証明書を出していただければ考慮します。
- ・ 就職活動等も一定の配慮をしますが、原則的に、事前に証明書等を提出するようにしてください。

現代における神学的課題

神学とは何か？

神学は人間の現実に最も近く歩み寄り、あらゆる学問が尋ね求める真理に対して、最も明瞭な眺望を与え、「学部」という荣誉ある、深い意味を持った名前の意味するものに、最も近く歩み寄ることによって、一切の学問のうち最も美しいもの、頭と心を最も豊かにゆずるものである。(中略)しかし同時に神学は、一切の学問のうち、最も困難なものであり、最も危険なものである。それは、それにたずさわる人が、たちまち絶望のうちに身を果てるもの、あるいはさらに悪いと思われるのは、傲慢のうちに身を果てるもの、何よりも悪いことには、雲散霧消したり、化石化したりして、自分自身の戯画になり得るものである。(カール・バルト『啓示・教会・神学』)



現代神学を学ぶ意義

- ・ 「現代」とは？
- ・ 同時代性の感覚
- ・ 過去からの問いかけ
- ・ 課題の共有

神学とコンテキスト

〈誰が〉
〈どこで〉
〈何のために〉
〈どのような〉

} 神学を必要とするのか

現代神学の多様な潮流

- ・ 二つの世界大戦とその影響
- ・ 解放の神学
- ・ 黒人神学
- ・ フェミニスト神学
- ・ 終末論
- ・ 宗教の神学
- ・ エコロジーの神学
- ・ 動物の神学